



Spirit of “North” vol.1

精神の〈北〉へ

アートになる北国 アートになる三十八間蔵

福島県会津地方をフィールドに、「精神の〈北〉」を探るリサーチを続けて来ました。北欧の国ノルウェーとスコットランドから来日して喜多方市に滞在中のアーティストたちと協働し、登録有形文化財に指定されている三十八間蔵で、その成果を展示します。喜多方の蔵によみがえる北方の精神をぜひご覧ください。

会期／ 2013年3月3日（日）～ 3月11日（月） 10:00～17:00

会場／ 三十八間蔵（福島県喜多方市字1-4647） 会期中無休 入場無料

リードアーティスト・企画／	丸山芳子	（インスタレーション）
ゲストアーティスト／	Vigdis Haugtrø	（インスタレーション・ハプニング）
	Margrethe Aas	（インスタレーション・ハプニング）
	Su Grierson	（写真）

主催/ 「精神の〈北〉へ vol.1」 実行委員会

「はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト」 実行委員会（文化庁文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業）

協力/ 国際交流基金 IORI 倶楽部 福島県立博物館 NPO 法人まちづくり喜多方 喜多方シティエフエム株式会社 ふくしま連携復興センター
NPO 法人グリーンツーリズムサポートセンター 会津喜多方国際交流協会 studio mar あきもとクリニック 株式会社河京 株式会社大善
有限会社江川建設重機 佐久間建設工業株式会社 合名会社星商店 志田公司 蛭川靖弘

●コンセプト

東北の真の再生に向けて

東北には、東北独自の文化と周辺の北方諸民族との交流の歴史があり、その気候風土に合った暮らしや産業があります。しかし、古代大和朝廷による「蝦夷（エミシ）」征伐に始まり、その後も続いた中央からの一方向の歴史観と偏見によって、東北の真の姿は未だに明らかにされたとは言えません。「道の奥」でも「北の果て」でもなかった本来の豊穡な東北を掘り起こし、東北人にとってのアイデンティティを根底から見直す作業こそ、揺るぎない再生の礎となるでしょう。

北方世界の中の東北をさぐる

プロジェクト「精神の〈北〉へ」は、東北と世界の北方の国々の表現を会わせることによって、それぞれの作品に表れる精神性のなかに、作品を生み出す源泉である気質、思考、感性を探り、北の人同士の共通性や差異を見いだしながら交流を深めていく活動です。数多くの表現に出会いながら互いに共通する水脈を探ることは、精神の〈北〉でつながる世界の連環のなかに位置する東北を見いだす旅路と言えるでしょう。

3.11から2年目を迎えるとき、東北を軸として、世界の北方同士の交流が始まります。

●アーティストのプロフィール

丸山芳子/マルヤマ・ヨシコ（福島県二本松市生まれ） アーティスト。地域、場が持つ背景から生まれるインスタレーションや絵画を制作。

Vigdis Haugtrø/ヴィグディス・ハウグトゥロ（ノルウェー） アーティスト。彫刻、ドローイング、インスタレーションの作品を制作。

Margrethe Aas/マルグレーテ・オース（ノルウェー） 建築家。ノルウェイトロンハイム市にて景観設計や都市計画のプロジェクトに携わる。

Su Grierson/スー・グリアスン（英国スコットランド） アーティスト。ビデオ、音、写真、コンピューターを使った作品を制作。

●会期中の催し

自由参加 無料

- ・3/3(日) 14:00～17:00 オープニングパーティ
- ・3/8(金) 15:00～16:30 「北欧の冬/会津の冬」
アーティストによる展覧会案内のあと、リラックスお茶会
- ・3/9(土) 15:00～16:30 「母の秘密 私はサミなのね！」他
蝦夷との比較が興味深いサミ民族を知るドキュメンタリー
- ・3/10(日) 15:00～16:30
「捨てられた島 セント・キルダ島の人々」
苦汁の選択を迫られた、スコットランドのある島の物語



三十八間蔵：農家の冬の手仕事による日用品を扱っていた商家

<会場案内>

会津若松 IC から車で 40 分
喜多方駅から徒歩 20 分
喜多方グリーンホテル隣



<お問い合わせ>

喜多方まちづくりセンター
0241-22-5546